第８２号
令和８年10月15日発行
森山地区社会福祉協議会
諫早市森山町本村1300
TEL. 0957-36-0889

地区社協だより もりやま


彼岸花

50年にわたるご夫婦の絆を讃え、地域への貢献に感謝
～令和８年度　喜びの金婚夫婦表彰～

森山地区社会福祉協議会と長崎新聞社は、各自治会から申請のあった金婚式を迎えられた14組のご夫婦を表彰しました。各自治会は地区公民館でそれぞれ表彰式を開催したり、自治会長・地区役員がご夫婦のお宅を訪問してお祝いしました。


上井牟田自治会



田尻自治会

会場では、各自治会長がご夫婦が歩まれた人生に敬意を表し、長年にわたる地域社会への貢献に対して感謝の挨拶を述べました。表彰されたご夫婦からは、表彰式に対する謝意と地区皆様へのお礼の言葉が多くありました。


本村　井手様ご夫妻


下井牟田　釜﨑様ご夫妻

代理出席された息子さんは、「親父は働きづめで、子どもの頃遊んでもらったこともなかった。大人になって父の背中を見て育ったのだとわかった。感謝している」と語り会場は温かい空気に包まれました。

令和8年度　金婚夫婦表彰の皆様（敬称略　順不同）

地区	ご夫婦	地区	ご夫婦	地区	ご夫婦
本　村	井手　洋　タエコ	田　尻	横田信義　美代子	上井牟田	松葉次春　美知子
田　尻	山口健一　美代子	上井牟田	田代　貢　多津代	〃	土橋博文　テル子
〃	荒木廣海　接代	〃	牟田　惠　鏡子	下井牟田	末田澄男　美須枝
〃	山口幸一　すえ子	〃	佐藤幸光　勝子	〃	釜﨑博文　安子
〃	西村清貴　昭子	〃	嶋田安次郎ツギ子	―	―

＊各自治会から表彰申請がなされたご夫婦を掲載しています。

本村自治会　敬老会を開催！

本村自治会は、コロナ禍で中断していた敬老会を開催しました。子ども浮立や東洋太鼓の披露があり、カラオケまで飛び出して数年ぶりの敬老会は大いに沸きました。参加者は、同世代の仲間との話がはずみ、手作りの敬老会は盛会で喜ばれました。



本村自治会　敬老会

≪夫から妻へ　妻から夫へ　金婚式会場にて≫



金婚式会場でご夫婦のそれぞれの思いを語っていただきました。

Aさんご夫婦

夫：「ありがとう」の一言です。

妻：これまで家族のために一生懸命働いてくれて感謝です。これからもよろしく。

Bさんご夫婦

夫：・・・。（俺の気持ちは言わんでもわかっとるはず、との表情）

妻：・・・。

Cさんご夫婦

夫：丈夫な身体をくれた両親に感謝したい。これまで来れたのは地域の皆さんのおかげ。今日は若い皆さんに祝福されて大変感謝しています。

妻：2人とも元気でいてありがたいと思います。

Dさんご夫婦

夫：これまでけんかしたことが2、3回あったかな？　今、最高に幸せな毎日です。

妻：若い頃、洋服を投げつけてけんかしたことがあったね。（笑）

Eさんご夫婦

夫：「ありがとうございます」に尽きる。

妻：県外から森山へ嫁いで来て苦労もあったけど、誰よりも主人が一番良い。（会場拍手）いつも私を褒めてくれる。

Fさんご夫婦

夫：50年は長い。見合いで結婚したが、若い頃は我が家では酒盛りが多く苦労をかけた。今は、私の身体が弱くなり世話をかけている。妻には本当に感謝している。

妻：結婚して家庭環境が違って苦労もあったが、まぁまぁの人生。良かったです。

Gさんご夫婦

夫：家庭円満でここまで来れたのは、地区の皆さんの支えがあったからだ。お世話になりました。若い頃から良く飲み歩いて妻には迷惑をかけてばっかりだった。これからもどうかよろしくお願いします。

妻：勧められ、ためらいつつ結婚してからもう50年。若い頃は酒浸りでしたが、仕事でも何にでも元気でした。今では主人のもとに嫁いで本当に良かったと思っています。

Hさんご夫婦

夫：これまで突っ走って来たが良くぞ50年ついて来てくれた。これからもずうっと仲良く暮らしていきたい。

妻：あの時の1本の電話が私の人生を変えました。結婚には主人の家族も温かく応援してくれました。私もこの人で良かったと思っています。

Iさんご夫婦

夫：50年間、いろいろとお世話になった。子ども達が立派に育って社会人になれたのもお互いの協力があったからだ。ありがとう。

妻：大病を乗り越えて50年を迎えることができた。嬉しかったことは、子ども達が幸せな家庭を築いたこと。

Jさんご夫婦（ご主人病気療養中のため奥様の思いを聞きました）

妻：今あるのは夫のおかげ。感謝、感謝です。これから夫に恩返ししたい。それだけです。

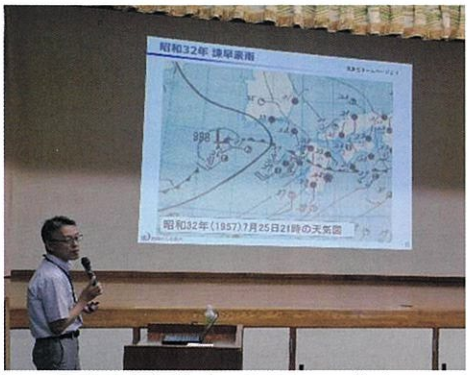
南海トラフ地震では橘湾では４メートルの津波のリスク
～自分の命は自分で守る、地域での助け合いを。防減災研修会を開催～

森山地区社会福祉協議会は、防災意識を高めて「自助・共助・公助」の防災３原則を考えることを目的に８月５日に防減災研修会を開催しました。昭和32年の諫早大水害では、森山では釜・井手口地区の山津波で多数の犠牲者がありました。あの災害を風化させないことも目的としています。

今年の出席者は74人で、自治会長をはじめ自治会役員、消防団幹部、諫早市危機管理課、森山支所、民生・児童委員、地域の皆様など地域福祉に関わる多くの方々が参加されました。



会場を埋めた多くの受講者



長崎地方気象台　堀田氏の講演

７月28日の熊本地震の直後であったことから、受講者も地震災害に対する関心が高く、防災意識が喚起されました。「消防団の方も多数出席されており頼もしく思った。防災意識を共有できた」との声がありました。

◎講師　　長崎地方気象台　次長　堀田幸男氏
◎演題　　「身を守るための防災気象情報～大雨や地震の備え～」
◎趣旨　　・昭和32年諫早豪雨（森山では１日降水量988.5㎜）
・新たな防災気象情報（R8.5.29運用開始）
・地域の災害リスクを知る
・地震に備える・令和８年熊本地震
・雲仙断層群、南海トラフ地震
◎総括コメント　鎮西学院大学名誉教授　佐藤快信氏



森山産新米コシヒカリを届けました

森山地区社会福祉協議会は８月23日、各地区の民生・児童委員の皆様を通して森山産新米コシヒカリをひとり暮らし高齢者の皆さんに届けました。

昨年は米の価格の急上昇、今季は価格下落などの課題が取り沙汰されていますが、日本人の主食である米の大切さを強く感じています。

今年は、大きな災害もなく丹精込めた稲穂が実り、おいしい新米を届けることができました。

訪問先では、新米を手にしたとき「暑い中ありがとうございます」と笑顔で喜んでいただき、民生・児童委員にとっても嬉しい気持ちになり励みになりました。「残暑が厳しいですからお身体に気をつけてお過ごしください」と声掛けをしながら配付しました。

無事に配付を終えて民生・児童委員は「地域の方々とひとり暮らし高齢者を見守り、寄り添い活動を続けていきたい」と語ってくれました。



「熱中症に気をつけて・・」

サロンの活動内容や課題などを思うままに語り合いました
～ふれあいいきいきサロン情報連絡会を開催～

森山地区社会福祉協議会は７月 16 日、ふれあいいきいきサロン情報連絡会を開催しました。サロンの代表者とボランティア、南部包括支援センター、諫早市社会福祉協議会、森山地区社会福祉協議会から 28 名の参加がありました。

第１部では、森山地区社協から地域福祉５年計画である「地域福祉活動計画」の説明がありました。要点は、下記のとおりです。ふれあいいきいきサロン活動は、重点目標の「見守り・見守られ活動」として位置けられています。

◎基本理念	「住み慣れた地域のなかで支え合い、助け合うまちづくり」
◎重点目標	①見守り・見守られ活動で支え合う地域づくり
	②子ども・高齢者に優しい地域づくり
	③防災意識の高い安心な地域づくり



第２部では、サロン活動の情報交換がありました。南部包括支援センターから「森山地区サロン活動あれこれ」と題して報告がありました。その後、グループ討議で自由に意見を出し合い、最後に各グループからサロン活動で喜ばれたことや抱えている課題の発表がありました。発表を聞いて、自分のサロンにも取り入れたいと思うことがたくさんあり参考になりました。

今後、森山地区社協はサロン活動のサポートを強化します。サロンの立ち上げ、出前講座、スライド研修、利用者拡大チラシなどお気軽にご相談ください。


サロン情報連絡会の模様

ふれあいいきいきサロン・子育てサロントピックス
～子育てサロン「おーどぼー’S」　玉ねぎ染めを楽しみました～

子育てサロン「おーどぼー’S」は、毎月第３土曜日に森山公民館で開催しています。９月は玉ねぎの色素で布巾やＴシャツを染める「玉ねぎ染め」に４家族８人の子供たちが参加しました。子ども達は出来上がりの模様を想像ながら一生懸命染めていきます。大人はそんな子どものそばでちょっとお手伝い。初めて出会った子ども達もすぐに仲良くなり、折り紙・かるた・お絵描きなどで楽しく遊んでいました。お母さん同士もスタッフを交えていろいろな話をして楽しい時間を過ごせるのが子育てサロン「おーどぼー’S」の良さでもあります。11 月は「新米を食べよう！」です。おにぎり・豚汁を一緒に作ります。どうぞ遊びに来てください。未就学児が対象ですがお兄ちゃん・お姉ちゃん同伴も構いません。


「玉ねぎで染めました」

ご寄付ありがとうございました

左記の方々からご厚意による寄付金をいただきました。

寄付金は、自治会福祉活動助成等、森山地域の福祉事業に大切に使わせていただきます。

令和８年７月１日～９月 30 日受付

《香典返し》

◎慶師野　池松弘　様

【亡父　力太郎様】

◎本　村　早田友英様

【亡母　リエ様】

《一般寄付》

森山町遺族会から地域福祉活動に役立ててくださいと寄付をいただきました。

《表紙画像》

曼殊沙華の別名もある彼岸花は、その和名は、お彼岸の頃に咲くことに由来します。森山の秋は、稲穂、そばの花、彼岸花が里を彩ります。

森山地域おこし協力隊の黄治豪さん撮影。